

## 編 集 後 記

梅雨明けが待ち遠しく思える今日この頃です。島根医学第35巻第2号をお届けします。今回も基礎から臨床までの幅広い内容です。生涯教育講座では島根大学の先生方にいつもご協力いただいています。土屋先生の「長寿遺伝子が教えること」に身につまされたのは私だけではないと思います。長寿を目指すためには、飲むな、食うな、体を動かせといったことが、生化学的に実証されつつあるということでしょうか。関根先生は口腔がんの早期発見には、市民への啓発活動とかかりつけ医との連携の重要性を指摘されています。臨床と研究では、嚥下障害にかかわる様々な工夫の紹介（木佐，蓼沼先生），もはやシリーズ化した小児肥満の論考（泉信夫先生），ピロリ菌の感染経路についてユニークな視点から（泉明夫先生），新しい糖尿病薬の有用性，安全性の検証（長見先生）と興味深い症例報告が3題（林，新垣，竹林先生）ありました。いずれも実地医家にとって参考になる論文でした。この雑誌はその性格上，会員の研究発表や生涯教育の一助となるとともに，専門外の方にも，気軽に目を通していただきたいと思っています。夏の日の夕暮，リラックスして，キーンと冷えたビール片手に「この先生がんばっていらっしゃるなあ」とか，「へえ，こんなことがあるのか」とかつぶやきながら（長寿遺伝子の減少を気にしつつ）というのも私の個人的な雑誌の楽しみ方です。（著者にはお詫びします）

(H.A)

## 島根医学編集委員

葛尾信弘，貴谷 光，秦 公平，児玉和夫，森本紀彦，  
浅野博雄，沖田旺治，齊藤洋司，佐藤比登美，小林祥泰，  
井川幹夫，菊池 清

## 島 根 医 学

平成27年6月30日発行

発行者 島 根 県 医 師 会  
松江 市 東 奥 谷 町  
編 集 編集者 葛 尾 信 弘  
発行所 松江 市 学 園 南 2 丁 目 3 番 11 号  
有限会社 松 陽 印 刷 所